

船舶事故等調査報告書

平成22年9月30日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第56号	
事故等種類	衝突（灯標）	
発生日時	平成22年2月20日 05時37分ごろ	
発生場所	愛知県田原市伊良湖岬北西方沖 中山水道開発保全航路第1号灯標 （概位 北緯34°37.7′ 東経136°58.6′）	
事故等調査の経過	平成22年4月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 産業廃棄物運搬船 第五永昇丸、499トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 129586、有限会社小川海運及び個人所有</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、三級海技士（航海） 一等航海士、六級海技士（航海）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	本船 右舷船尾居住区擦過傷及びハンドレール曲損 中山水道開発保全航路第1号灯標 灯標上部の手すり及び足場等変形	
事故等の経過	<p>本船は、船長及び一等航海士ほか3人が乗り組み、伊良湖水道航路を通過後、一等航海士が単独で船橋当直につき、伊良湖岬北西方沖の中山水道開発保全航路第1号灯標（以下「中山水道1号灯標」という。）の西方を通過しようと針路を約345°に定め、約7ノットの速力で、手動操舵により航行した。</p> <p>本船は、左舷船首方から強風を受けて航行中、右舷方に大きく圧流され、平成22年2月20日05時37分ごろ、右舷船尾部が中山水道1号灯標に衝突した。</p> <p>本船は、事故発生場所付近において投錨し、海上保安部に通報を行ったのち、自力で愛知県碧南市衣浦港に入港した。</p>	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西～西北西、風力 5～6、視界 良好 海象：有義波高 約1.2m、流向 北北東、流速 約0.6ノット	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	あり
	判明した事項の解析	本船は、伊良湖岬北西方沖の中山水道1号灯浮標付近を北西進中、左舷船首方から風力5～6の風を受けて右舷方に圧流され、中山水道1号灯標に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、伊良湖岬北西方沖の中山水道1号灯浮標付近を北西進中、左舷船首方から風力5～6の風を受けたため、右舷方に圧流され、中山水道1号灯標に衝突したことにより発生したものと考えられる。	